

絵

本

夕

イ

ム

～乳幼児（0～2歳）編～



山梨県立図書館

YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

リズムにのって ～わらべうた・言葉・ 音の絵本～



やってみよう！読み聞かせ

大好きなパパやママの声で絵本を読んでもらうのは、赤ちゃんにとって嬉しい時間。赤ちゃんの機嫌の良いときに、絵本を声に出して読み、音の響きや心地よいリズムを一緒に楽しんでみませんか。歌って遊べるわらべうた絵本もおすすめです。

『おいちにのだーるまさん』

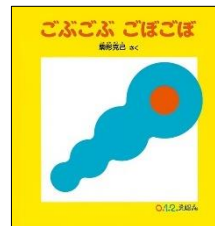
こばやしえみこ/文
こいでやすこ、小淵もも/絵
福音館書店 2011年



赤や緑、黄などカラフルなだるまたちが、「おいちにのだーるまさん」とやって来て、ボールを「ぽん」と蹴ったり、縄跳びを「びょん」と跳んだり、一列になって電車ごっこをしたりして遊びます。声に出して読むと楽しいわらべうた絵本。

『ごぶごぶごぼごぼ』

駒形克己/さく
福音館書店 1997年



青や水色などを背景に、まるで水中に浮かぶ泡のように、大小様々で色鮮やかな丸が描かれています。穴あきしかけ絵本なので、触って楽しむこともできます。「ぷく ぷく ぷくん」「ごぶごぶ」などの擬音語の響きが心地よく、リズムカルに読み聞かせたい1冊です。

『ごろんごゆきだるま』

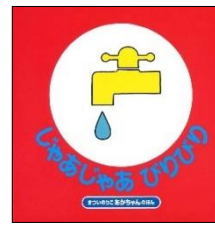
たむらしげる/さく
福音館書店 2004年



「ごろ ろろ ごろんご」。大きな丸い雪の玉が転がってきました。「どすん どこんどたん」。少し小さな雪の玉が跳ねるようにやって来て「ずでん」と上に乗れ、雪だるまが完成します。布で作られた優しい風合いの絵とともに、様々な音の表現を楽しめます。

『じゃあじゃあびりびり』改訂2版

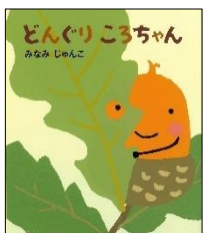
まついのりこ/作・絵
偕成社 2015年



「じどうしゃ ぶーぶーぶーぶー」「いぬ わん わん わん わん」「みず じゃあ じゃあ じゃあ」。赤ちゃんの身近にある物を音で楽しむオノマトペ絵本です。シンプルで、はっきりした色合いの絵が目を引きまします。

『どんぐりころちゃん』

みなみじゅんこ/作
アリス館 2013年

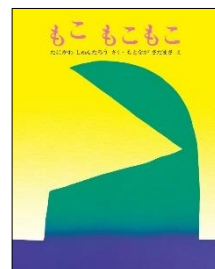


秋にぴったりのわらべうた絵本です。どんぐりたちが元気よく踊ったり、「ぼーん！」と空中に飛び出し、ふわふわな落ち葉の中を、ころころ転がります。「♪どんぐりころちゃん」と歌ったり遊んだりしながら読んでみましょう。

巻末に楽譜と、遊び方が掲載されています。

『もこもこもこ』

谷川俊太郎/作 元永定正/絵
文研出版 1977年



「しーん」「もこもこ」「によき」など、楽しい言葉に合わせて地面が膨らんだり、形を変えたりします。

鮮やかな色彩、不思議な形と、詩人の谷川俊太郎さんが書いた様々な音を楽しむことができる絵本で、図書館のおはなし会でも人気の1冊です。

一緒にあそぼ！ ～遊びの絵本～



『いないいないばあ』 改版

松谷みよ子/文 瀬川康男/え
童心社 1981 年

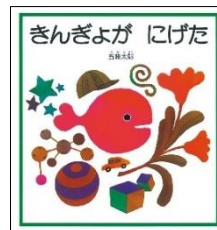


「いない いない……」ねこが両手で顔を隠しています。ページをめくると、「ばあ」。ねこが笑顔で現れました。くまやねずみ、きつねも「いない いない……」「ばあ。」

赤ちゃんと一緒に「いないいないばあ」で遊んでみませんか。50 年以上読み継がれている名作です。

『きんぎょがにげた』

五味太郎/作
福音館書店 1977 年



水槽から丸くて赤い金魚が逃げました。「どこに にげた」。金魚はカーテンの赤い水玉模様には隠れていると思ったら、また逃げ出します。「こんどは どこ」。

お菓子やいちごなど、色や形が似ているものに隠れた金魚がどこにいるかを見つけて楽しむ絵探し絵本です。

『くっついた』

三浦太郎/作・絵
こぐま社 2005 年



2 頭のぞうが向かいあって、長い鼻を伸ばして「くっついた」。鼻先と鼻先がピタッとくっつきました。金魚やあひるも「くっついた」。赤ちゃんとお母さん、お父さんも、ほっぺを寄せて「くっついた」。

親子でスキンシップを楽しむ絵本です。

『だっこのおにぎり』

長野ヒデ子/作
つちだのぶこ/絵
佼成出版社 2009 年

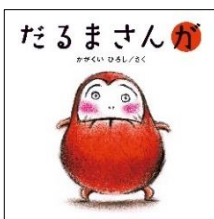


子どもを抱っこして、おにぎりを作ろう！「おにぎり きゅっきゅっ」。きゅっと抱きしめ、おへそに梅干しやタラコを「きゅっきゅっ きゅっ」と入れます。パラパラとゴマをふりかけて、海苔をくるりと巻いたら、おいしいおにぎりのできあがり！

スキンシップが楽しい歌遊び絵本。

『だるまさんが』

かがくいひろし/さく
ブロンズ新社 2008 年



「だるまさんが」の掛け声に合わせ、だるまさんが左右に動き、「どてっ」と転んだり、「ぷしゅーっ」と空気が抜けて平らになったり、「ぷっ」とおならをしたり。

思いもよらないだるまさんの動きに、図書館のおはなし会でも親子の笑いが絶えない 1 冊です。

『ペンギんたいそう』

齋藤槇/さく
福音館書店 2013 年



ペンギンの動きをまねるだけの「ペンギんたいそう」をやってみよう！

両手を広げて「いきを すって～」「はいて～」で、体の力を抜きます。「うでを ふって～」で、両手を「ぱたぱた」と振ります。「ちいさく じゃんぷ～」でちゃんと軽く跳ねたら、次は「おおきく じゃーんぷ！」で「ぴょ～ん！」。

毎日ドキドキ ～生活の絵本～



年齢別絵本の選び方(2歳)

食べる、遊ぶ、寝る、起きるなど日常的な体験を、リズムカルな言葉やシンプルな繰り返しで描いた絵本がおすすめです。ストーリーを楽しむ物語にも興味を持ち始めます。読み聞かせるときは、ゆっくり、はっきりと文を読み、じっくりと絵を見せてあげてください。

『おつきさまこんばんは』

林明子/さく
福音館書店 1986 年



空の色が紺色に変わり、夜になりました。おや、屋根の上から丸くて黄色いお月さまが顔を出しましたよ。「おつきさまこんばんは」。ところが、黒い雲がやって来て、お月さまを隠してしまいます。

笑顔や困った顔など、表情豊かなお月さまが登場する絵本です。

『おでかけばいばい』

はせがわせつこ/ぶん
やぎゅうげんいちろう/え
福音館書店 2006 年



「おでかけ おでかけ ピタコン ピタコン」。3羽の鳥の赤ちゃんが、ママの背中のリュックサックで揺られて、お出掛けします。「いってらっしゃーい」。赤ちゃんたちは「ばいばーい」と言いながら、笑顔で手を振ります。さて、どこへ行くのかな？

『おててがでたよ』

林明子/さく
福音館書店 1986 年



赤ちゃんが一人で服を着ようと、すっぽりと頭から洋服をかぶりしました。「おてては どこかな」「ぱっ おててがでたよ」。手、頭と顔、足……と順番に服から出していきます。

日常生活の中での、一人できた喜びを描いた絵本です。

『お風呂だ、お風呂だ!』

わたなべしげお/ぶん
おおもやすお/え
福音館書店 1985 年



砂場で遊んで泥だらけになったくまくんが、お父さんと一緒にお風呂に入ります。湯船につかり、体をごしごしと洗ってもらったら、「こんどは ぼくが あらってあげる。」と、くまくんがお父さんの背中を洗います。

お父さんと一緒にお風呂を楽しむくまくんを描いた絵本です。

『かささしてあげるね』

はせがわせつこ/ぶん
にしまきかやこ/え
福音館書店 1995 年



雨にぬれる生き物たちに、男の子が「かささしてあげるね」と大小様々な傘をさしてあげます。ぞうに降る雨は「ピッチャン パッチャン」、きりんには「ピロリン ポロリン」、ありには「ピピ ポポ」と、生き物によって違う雨音の表現も楽しい絵本です。

『だっこして』

にしまきかやこ/作
こぐま社 1995 年



「だっこして」とカンガルーの赤ちゃんが駆け寄ると、カンガルーのお母さんは「はい だっこ よしよし」と赤ちゃんを優しく、お腹の袋で抱っこします。ひよこや子ぐま、うさぎのぴよんたを抱っこしたななちゃんも、お母さんやお父さんに優しく抱っこしてもらいます。

おいしいものが 食べたいな！ ～食べ物絵本～



読み聞かせ Q&A

Q：読み聞かせをしても、途中で動き回ったり、ページを先にめくってしまいます。

A：最初から最後まで読まなくても大丈夫。好きなページを繰り返し見たり、遊びながらでよいので、ゆっくり、繰り返し読んであげましょう。

『おにぎり』

平山英三/ぶん 平山和子/え
福音館書店 1981 年



ご飯を炊いて、手に水と塩をつけ、湯気のアがる熱々ご飯を「ぎゅっぎゅっ」と握ると、三角形のおにぎりができます。具材は何でしょう。

おにぎりを作る過程を、順を追って描いた絵本です。絵本を読んだ後、親子で一緒におにぎりを作ってみてはいかがでしょう。

『おやまごはん』 改訂新版

西内ミナミ/さく
和歌山静子/え
偕成社 1999 年



「たん たん たた たん たた たた たん」。包丁さんが歌ったり、踊ったりしながら野菜やハムを刻んでいます。ご飯と一緒にフライパンで「ヤーッ パチパチ」と炒め、塩と胡椒で味付けします。型に詰めて、お皿に「ポン！」とあけると、おやまごはんのできあがり！

『くだもの』

平山和子/さく
福音館書店 1979 年



丸いスイカは切り分けて皿に載せ、りんごは皮をむき、食べやすい大きさに切って、「さあ どうぞ」。

本物そっくりに描かれたおいしいそうな果物に、赤ちゃんも思わず手を伸ばしたり、「もぐもぐ」と食べるまねをしたりします。

『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやまけん/絵
森比左志、わだよしおみ/文
こぐま社 1972 年



しろくまちゃんがお母さんと一緒にホットケーキを作ります。「ぼたあん」「どろどろ」「ぴちぴちぴち」とホットケーキが焼きあがっていく場面は、子どもたちに大人気。こんがりときつね色に焼けた、ほかほかのホットケーキの出来上がり！

『にんじん』

せなけいこ/さく・え
福音館書店 1969 年



「にんじんの すきなこ だあれ」。うま、きりん、ぞうなど、動物たちがぽりぽりにんじんを食べて、「ああ おいしい」。最後は、男の子がにんじんをおいしく食べます。貼り絵で描かれた温かみのある絵本です。

『まるくておいしいよ』

こにしえいこ/さく
福音館書店 1996 年



大きな赤い丸が描かれています。「これ なあに」。ページをめくると、チョコレートケーキが現れました。

いろいろな色や大きさの丸が、丸い形の食べ物に変わります。何が登場するのか、あてっこ遊びも楽しめます。

乗せて乗せて！ ～乗り物の絵本～



『がたんごとんがたんごとん』

安西水丸/さく
福音館書店 1987 年



「がたん ごとん がたんごとん」と走る汽車に、「のせてくださいー」と哺乳瓶が呼びかけます。汽車は哺乳瓶を乗せ、出発します。マグカップやりんご、猫なども乗り込み、「がたんごとん がたん ごとん」。汽車が走るリズムの繰り返し心地よい 1 冊です。

図書館へ行こう！(1)

よちよちおはなし会：赤ちゃん絵本の読み聞かせ、親子で遊べるわらべうたなどを行うおはなし会に参加してみませんか。平日、午後 2 時 30 分から。開催日は、図書館ホームページまたはチラシをご覧ください。

よむよむスペース：読み聞かせのためのコーナーです。0～2歳の赤ちゃんにおすすめの絵本があります。

『しゅっぱつしんこう！』

山本忠敬/さく
福音館書店 1982 年



みよちゃんとお母さんが、電車で山奥に住むおじいさんの家に行きます。特急列車に乗り、「しゅっぱつ しんこう！」。続いて急行列車、普通列車と乗り続けます。

都会から田舎へと次第に変化する風景が丁寧に描かれ、電車に乗って旅をしている気分が味わえます。

『のせてのせて』

松谷みよ子/文 東光寺啓/絵
童心社 1969 年



まこちゃんが自動車で走っていると、「ストップ！」「のせて のせて」と、うさぎが手を挙げて車を止めて乗ってきました。くま、ねずみも「のせてのせて」。

動物たちと一緒に「びゅーん」と風を切って車で走る楽しさが味わえる絵本です。

『バルンくん』

こもりまこと/さく
福音館書店 1999 年



「バルン バルン バルルン」。スポーツカーのバルンくんが出掛けます。急坂を登れば「バルバルバルーッ」。サーキットでみんなと並んで走れば「バルンバルン バルバルーッ」。

バルンくんのエンジン音を小気味よく読み聞かせてみてはいかがでしょうか。

『ひこうき』

バイロン・バートン/さく・え
こじまもる/やく
金の星社 1992 年



高い空に、大勢のお客さんが乗ったジェット機が飛んでいます。ジェット機はどこへ行くのかな？

水上飛行機、ヘリコプター、輸送機など様々な飛行機が登場する絵本です。「バートンののりものえほん」シリーズの 1 冊です。

『よいしょ』

三浦太郎/作
偕成社 2007 年



ダンプカーが山盛りの土を運んできました。「よいしょ！」と荷台を傾け、一気に土を降ろしました。ホイールローダーはたくさんの砂を持ち上げます。「よいしょ！」。

力持ちの働く車が大活躍する絵本です。子どもたちに人気のブルドーザーやパワーショベルも登場します。

みんな生きている ～生き物の絵本～



『くまさんくまさん なにみてるの?』

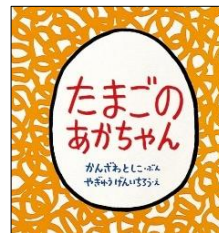
エリック=カール/え
ビル=マーチン/ぶん
偕成社編集部/やく
偕成社 1984 年



「くまさん くまさん、ちやいろい くまさん、なに みてるの?」と、茶色いくまに聞くと「あかい とりを みてるの」と教えてくれました。今度は赤い鳥に質問してみましょう。「なに みてるの?」。赤い鳥が見ていたのは、どんな色の動物かな?

『たまごのあかちゃん』

かんざわとしこ/ぶん
やぎゅうげんいちろう/え
福音館書店 1987 年



「たまごのなかで かくれんぼしてる あかちゃんは だあれ? でておいでよ」と呼びかけると、「ぴっぴっぴっ」とにわたりの赤ちゃんが出てきました。卵の中からいろいろな生き物の赤ちゃんが生まれてきます。次は何の赤ちゃんが出てくるでしょう。

『てんてんてん』

わかやましずこ/さく
福音館書店 1996 年



赤色に小さな黒い丸が「てんてん てん。」と描かれています。何かな? ページをめくると、てんとう虫が現れました。

かたつむりやちょうなど身近な虫や生き物が登場する絵本です。丸や渦巻きなどの特徴を手掛かりに、どんな生き物が登場するか親子で一緒に想像しながら読んでみてはいかがでしょうか。

『どうぶつのおかあさん』

小森厚/ぶん 藪内正幸/え
福音館書店 1977 年



動物のお母さんは赤ちゃんをどんな方法で運ぶのかな? 猫は子猫を口でそっとくわえ、日本猿は子猿をお腹にぎゅっとしがみつかせて運びます。では、象は? ヒントは「鼻」。長い鼻をどんなふうに使って、赤ちゃんを運ぶのでしょうか。

『ねこがいっぱい』

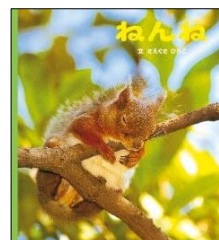
グレース・スカール/さく
やぶきみちこ/やく
福音館書店 1986 年



舌を少し出した大きな猫が体を丸めて座っています。二匹の小さい猫はひもとじゃれています。ちょっと遊ぶしま猫やせいたかのっぼの猫など、様々な猫が登場します。お気に入りの猫は見つかったかな?

『ねんね』

さえぐさひろこ/文
アリス館 2004 年



動物たちは、どんなふうに眠るのでしょうか? 「そよかせ さやさや すやすや ねんね」。草むらの上で、キリンが長い首を折りたたんで眠っています。シロクマは、雪の上でうつ伏せになって「べたんこねんね」。動物たちがみんなねんね。おやすみ前の読み聞かせにぴったりの写真絵本です。

絵本タイム ～乳幼児（0～2歳）編～



発行日 令和7年3月31日

編集・発行 山梨県立図書館

YAMANASHI PREFECTURAL LIBRARY

〒400-0024

甲府市北口2丁目8番1号

T E L 055-255-1040

F A X 055-255-1042

U R L <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

この冊子に関するお問い合わせ先

山梨県子ども読書支援センター（山梨県立図書館内）

- * 当館ホームページ上からもこの冊子を見ることができます。
- * 株式会社福音館書店発行の図書の一部は、出版社の指示により、初出の月刊誌の発行年を記載しています。
- * 本書掲載の記事、イラスト、写真等の無断転載を禁じます。
- * 山梨県内の公共図書館、子育て支援施設（認定こども園、保育所、幼稚園、子育て支援センター、児童館など）の方へ
 - ・ 本冊子は、プリントアウト、コピーによる複製の作成、無料配布が可能です。（改変・切除はご遠慮ください。）
 - ・ 本冊子に掲載されている書影付きの紹介文やコラムは、コピー（拡大可）またはプリントアウトし、枠線で切り取り、POPとして展示にご活用いただけます。